

日本発ドイツ便り : Starnbergersee (前編)



この二人、誰かわかりますか？日本人が考えるドイツのシンボルの「あの」お城を作ったバイエルン王 Ludwig II (ルートヴィヒ2世) そして Kaiserin Elisabeth (オーストリア皇后エリザベート、愛称は Sisi、シシィ。そうです。ドイツ出身なんです)。2人とも Bayem 王家の人です。そんなこんなで Bayem にはもちろんにはこの二人にゆかりの場所がたくさんあります。

そのひとつに行ってきました。Starnbergersee (シュタルンベルク湖) München から S-Bahn で約 40 分。



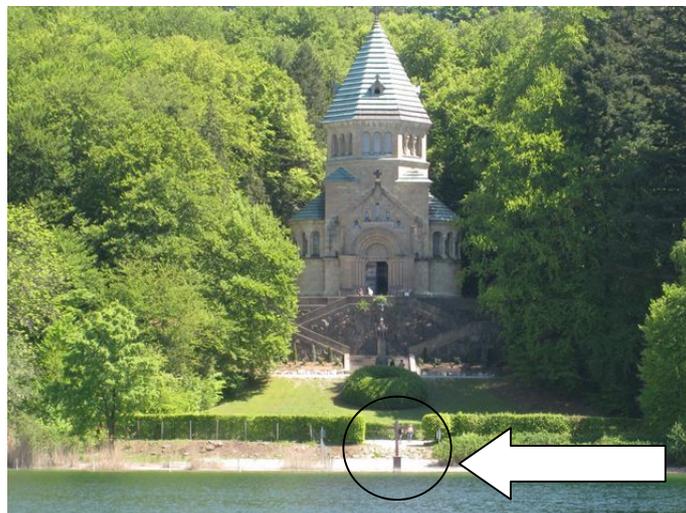
電車を降りて、駅からの風景がいきなりこれですもん。テンションあがりますね☺。Starnbergersee はドイツで 4 番目に大きな湖です。アルプスの氷河から出来た湖だそうです。南北に 21 キロ、東西に 3~5 キロ。面積が約 59km²。

この湖の周りで行ってみたい場所がありました。地図で見ると「ちょっとがんばれば歩けるかな？」と思っていたのですが、駅を出て、遊覧船の案内の人に、「ここまで歩いてどのくらい？」と聞くと「行けんことはないけど、6 km あるよ。船だと 10 分。もうすぐ出航するから、乗り〜」といきなり遊覧船に乗ることになりました。(ホントは最初歩いて行って、そこから船に乗るつもりでした) この日は Bayem 号に乗って出航！この大きな湖を一周で 3 時間位のコースです。(途中下車もできますが、まだシーズン前で本数が少なかったなので、今回は途中下車せず。) 船は結構大きくて、2 階建て。売店にレストランもあります。船内にも椅子とテーブルはありますが、皆もちろん、太陽燦々の甲板のベンチに座ります。



Bayern 号と Starnbergersee の全景

Starnberg から船にのって、最初の停泊地 Berg。私が行きたかったところです。
ここは Ludwig II 世が最期を迎えた場所になります。1886 年 6 月 12 日に、Ludwig II 世は精神状態を理由に家臣たちから Bayern 王を廃位させられ、逮捕され、この Berg のお城に幽閉されます。そしてその翌日、1886 年 6 月 13 日には、彼と医師 von Gudden の 2 人が水死体となって発見されました。



ちょっと見にくいですが、矢印の先、○の中に十字架があるのが分かるでしょうか？これが死体の発見された場所なのだそうです。岸からも近く、浅い静かな湖、というこの場所での水死ということですが、詳細は今でも謎に包まれたままだそうです。その当時、この場所がどんな風景だったのかわかりませんが、なぜこんなところで？と思います。後ろの Votivkapelle (ヴォティフ礼拝堂) はこの事故から 10 年後に造られたとのこと。周りのうっそうと茂る木々の中にひっそりと建つ礼拝堂と、大きな湖の中の十字架がなんだか寂しい感じです。

お次はここ。Sisi ゆかりの地、Possenhofen (ポツセンホーフエン) Bayern 王家の夏の邸宅で、Sisi も 16 歳まで毎年夏はこのお城で過ごしたとのこと。残念ながらこのお城、今では私有地になっているので見学はできません。



こんなお城です。庭園から直接湖に出れそうですね。この日も本当に天気が良くて、どこまでも青くて広い空と静かで深い色の湖。夏には沢山のボートが白い帆を上げて…。賑やかでしょうね。☺



あともう一つ。Starnbergersee に浮かぶ唯一の島 Roseninsel (薔薇島) は、その名の通り、薔薇園があって、お城もあるとっても綺麗な島で、Ludwig II も Sisi も好んで滞在していました。という説明はあったのですが、上陸してないのでよくわかりません。船から見た Roseninsel は…。「小島」でした。☺



長くなりそうなので≪後篇につづく≫☺